

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	3 月	5 日	記入者	春日由広
調査者名	小倉	仲谷	西田	安川	

文化財名	尾山代(おやみで)遺跡				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1987年(昭和62)3月10日				
所在地	奈良市月ヶ瀬尾山3835、月ヶ瀬長引				
所有者 管理者	個人				
員数					
時代区分	8世紀から12世紀(奈良時代～平安時代)の集落遺跡				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	有り(県道753号線沿いに設置)。				
公開	自由に見学ができる。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	説明板が数ヶ所設置されているが、汚れや傷みで読み難い説明板があったので補修が必要。				
今後の課題	遺跡の周囲は農地で、遺跡全体は芝生に覆われてきれいに保存されている。駐車場はなく、史跡入口付に車が2台駐車できるスペースがある。出来れば、駐車スペースを充実して欲しい。				
その他 (由緒など)	遺跡は、奈良時代から平安時代に、大安寺などに木材を供給する「杣(山林)」を管理する人々の集落と考えられている。竪穴式住居・掘立柱建物などが確認され、竪穴式の1棟はカマド状施設をもつ建物で、ここで鍛冶をしていたと推測されている。土器・鍛冶道具・鉄滓(てっさい)・漁網のおもりが出土した。土器には「美濃」の刻印があり、遠隔地から平城京に納入された「調(税)」を「杣」の住民が使用していたことが伺える。				
コメント	案内板が無ければ、道路沿いから見ると小さな古墳と見間違いそうで、遺跡には見えない。遺跡は雑草を刈りきれいに整備され、住居・鍛冶場の建物が復元されているので奈良時代の杣人の暮らしぶりが偲ばれる。今後もきれいに整備された状態での保存・継承を望む。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	3 月	5 日	記入者	春日由広
調査者名	小倉	仲谷	西田	安川	

文化財名	尾山代(おやみで)遺跡
------	-------------

案内板	正面入口 右側に説明板
-----	-------------



復元建物説明板	復元建物説明板
---------	---------



掘立柱建物跡	道路から見た全景
--------	----------

